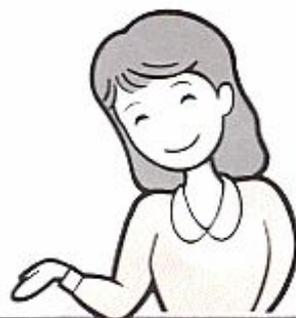


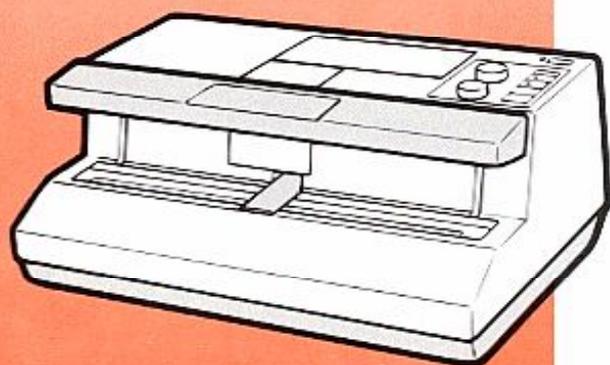
取扱説明書



もくじ

ページ

- 特 長…………… 1
- 使用できる袋について…………… 1
- 必ずお守りください…………… 1～2
-
- *各部のなまえとはたらき…………… 3～4
-
- *正しい使いかた…………… 5～8
- お手入れ…………… 9～10
- 消耗部品のお取りかえ…………… 11～12
- 据え付けまたは場所を変えるとき…………… 13
- アフターサービス…………… 14
- 仕 様…………… 14
- 故障かな?と思ったら…………… 裏表紙



業務用卓上密封包装機

形名

SQ-202

上手に使って上手に節電

このたびは、業務用卓上密封包装機をお買いあげいただき、まことにありがとうございました。本機の開発にあたりましては、エレクトロニクスのリーダーメーカーであり、マイコンを駆使した商品を数多く世界へ送り出しているシャープ株式会社の全面的な協力を得ました。

この取扱説明書および別冊の安全上のご注意は、ご使用前に必ず読んで正しくお使いください。

なお、この取扱説明書は、別冊の安全上のご注意、保証書、お客様ご相談窓口のご案内とともに、いつでも見られる所に保存してください。

★操作性重視の設計

マイコン制御を採用し、操作を簡単にしました。

シールのみの場合

袋をセットしてシールバーを押すだけ、あとは手をはなしてシールができます。

吸気タイマーセットの場合

袋をセットしてシールバーを押すだけ、あとは手をはなして吸気・シールができます。

★お手入れ重視の設計

汚れやすいノズル、集水タンク、連結パイプは取りはずして洗浄できる着脱式を採用しています。

この業務用卓上密封包装機は、業務用規格袋に、完全調理品、半調理品、生活用品、工業用部品などを入れ、空気を吸気して密封し、風味保持、におい移り防止など食品や生活用品を密封パックするためのものです。

使用できる袋について

1 食品保存、防湿、防錆、磁気シールド、静電気シールドなど、包装の目的に応じた袋の選定が必要です。また、袋の材質や構造によってはシールできない袋もありますので、包装用袋は販売店・旭化成パックス株式会社とご相談のうえ、適した袋を選んでご使用ください。

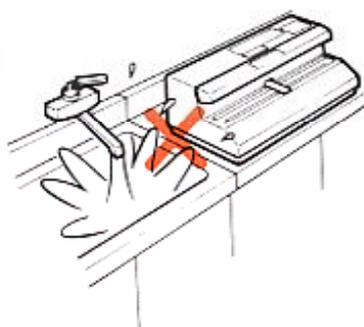
2 シールできる袋の目安は、厚さ約0.04mm~0.08mm、幅300mm以内のものです。

ご注意

- 食品を保存するときは、保存期間や食品の種類に応じ、使用方法をお選びください。なお、吸気包装による食品の品質を過信して使用することは禁物です。
- 本機には殺菌作用はありません。
- ノズルと集水タンクは常に清潔に保ってください。不衛生なものの吸気・密封に使用することは避けてください。
- 同一機を食品関係のものと、生活用品・工業用部品の両方に使用することは避けてください。

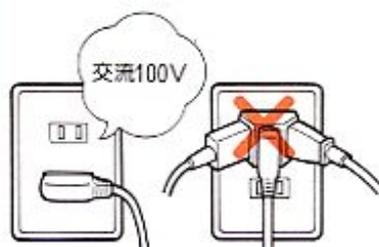
本体に水をかけないで

- 漏電や故障の原因になります。



タコ足配線はしないで

- タコ足配線は、発熱などの原因となり、危険です。



落としたり、強い衝撃を与えないで

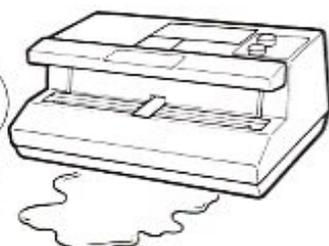
- 本体が破損したり、故障の原因となります。



液体を吸わせないで

- 汁物、粉類は吸い込まないように注意してください。
(汁物の密封には、別売品のSQドレンSQ-01M)をご使用ください。
- 液体など万一吸い込んだ場合は、集水タンクにたまりますが、水位線以上になると、吸い込んだ液体を本体の底から排出しませんが、十分注意してください。

汚れては困るものの上などでは使わないで



シーラーを押さえるときは

- シーラーを押さえると、強い力が加わりますので、手や指をはさまないように注意してください。



やけどにご注意を

- シール(熱溶着)直後はヒーター一面が熱くなっていますので、手をふれないでください。

やけどに注意して



ノズルの取り扱いにご注意を

- ノズルを握って引っぱったりいきおいよく、手を当てたりしないでください。けがをするおそれがあります。

取り扱いに注意して



火気の近くでは使わないで

- 故障や変形の原因となります。

熱源から30cm以上はなして



本体の上に物をのせないで

- 故障の原因となります。



袋をセットせずに、シーラーを押さないで

- ヒーターが過熱して故障の原因となります。

必ず袋をセットして



ご自分での分解や修理は絶対にしないでください。事故の原因となります。

各部のなまえとはたらき

① 開閉ボタン

集水タンク②、ノズル③
を掃除するときに開けま
す。

② 集水タンク

ノズル③から液体などを
万一吸い込んだときは、
ここにたまります。

③ ノズル

先端から吸気をします。

④ シール(熱溶着)ヒーター

(テープをはがさないで
ください。)

⑤ 上パッキン

⑥ 下パッキン

⑦ シールバー

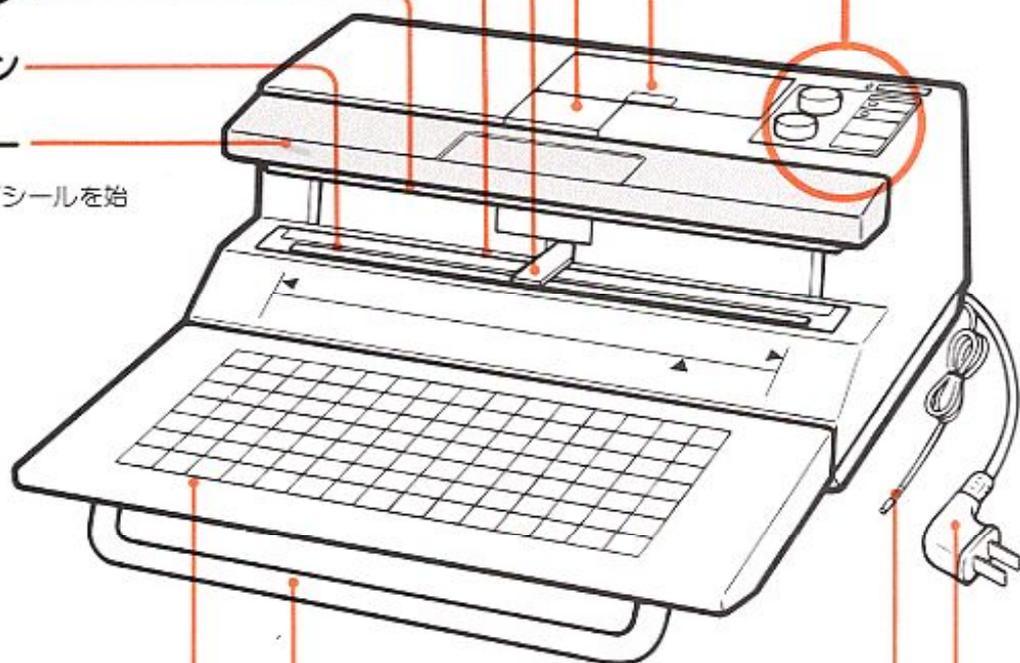
押すと吸気/シールを始
めます。

⑧ 作業テーブル

⑨ 前脚

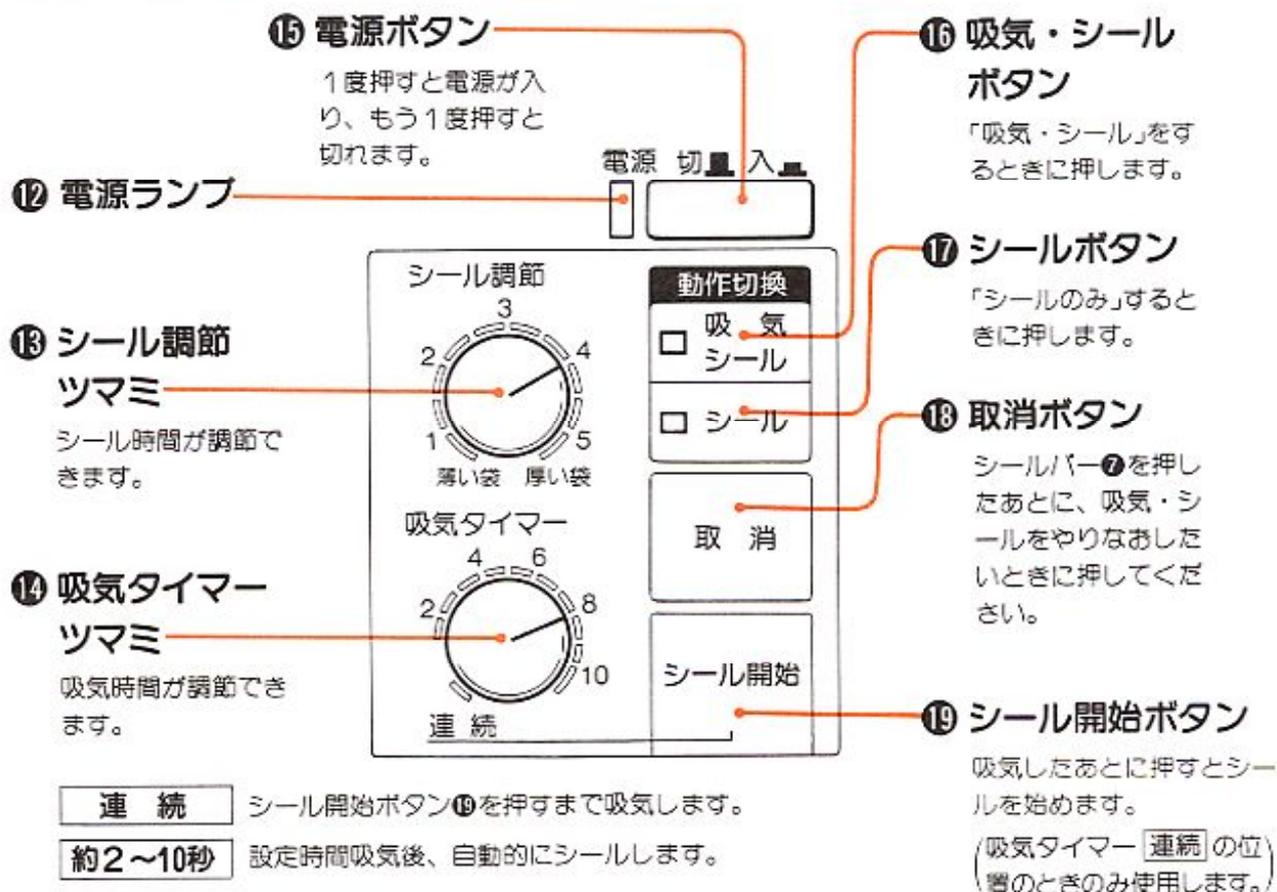
⑩ アース線

⑪ さし込みプラグ



各部のなまえにはそれぞれ番号
(①～⑩)を付けています。

操作パネル



付属品

- シールヒーター
- テフロン[®]テープ
- ハイスイホース
- ヒーター交換用具



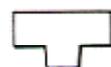
3本



3本



1本



1本

- ノズル清掃具



1本

- ホンタイカバー …… 1枚

- 試用袋(飛竜)

印刷物付属品

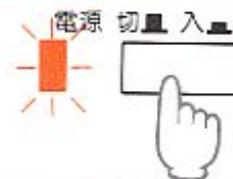
- 取扱説明書・安全上のご注意・保証書・シャープお客様ご相談窓口のご案内……各1部

テフロン[®]はデュポン社の登録商標です。

吸気・シールをする場合

1 電源ボタン①を押す

- 電源ランプ②が点灯し、ノズル③が出てきます。
(ノズル③が初めから出ている場合は、ノズル③は動きません。)



「シール」から「吸気・シール」に切り換える場合のみ、

吸気シール ボタン④を押してください。

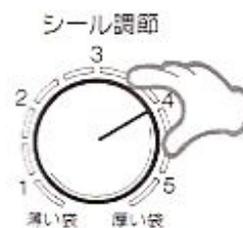


2 シール調節つまみ⑤を合わせる

袋の種類や厚み、本機を使用する部屋の温度によってシール調節が必要です。

- 使い始めにシール調節つまみ⑤の位置を変え、数回テストシールをおこなってください。

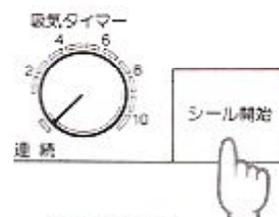
シール部の密着強さとシールのでき具合を確かめて、良好なシールができる位置に合わせてください。



3 吸気タイマーつまみ⑥を連続または2～10の位置に合わせる。

連続の位置

- 袋の吸気状態を確かめながら吸気・シールができます。
確実な吸気を必要とする場合にお使いください。
シールバー⑦を押してからシール開始ボタン⑧を押すまでの間、エアポンプが作動し吸気をおこないます。



2～10の位置

- 同じ中味をたくさんバックするときで、
吸気をあまり必要としない場合にお使いください。
シールバー⑦を押すとエアポンプが作動し、設定時間だけ吸気をおこなった後、自動的にノズル③がもどりシールまでおこないます。



時間調節のしかた (必ず袋をセットしておこなってください)

ご使用の始めに吸気タイマーつまみ⑥を10の位置に合わせ、吸気状態を確かめてください。

もっと短い時間で吸気できるとき

つまみを数値の小さい方へ回し、良好な吸気状態が得られる位置を選んでください。

吸気状態が不十分なとき

連続の位置でお使いください。

使い分けのポイント

- 作業テーブル⑧を本体の前に置いてください。
- さし込みプラグ①を100Vのコンセントに確実にさし込んでください。

袋をセットする

袋に中身を入れる

- 袋の大きさに比べて中身が少量の場合、吸気しにくいことがあります。中身の大きさに合った袋をご使用ください。
- 袋に中身を入れるときは、袋のシール部分に水や油などが付着しないように注意してください。シールが不完全になる場合があります。

※シール部分に水や油が付着したときは、きれいにふき取ってください。

- 食品はできるだけ新鮮なうちにパックしてください。酸化の進んだ食品には効果がありません。
- 食品にはガスを発生しているものがあります。この場合、袋がふくらむことがありますが、異常ではありません。

作業テーブル⑧の準備

前脚⑨を立てる

- 乾物やお茶など水分の少ない食品は作業テーブル⑧の前脚⑨を立ててお使いください。



前脚⑨をたおす

- お漬物や煮物などで水分の多い食品は水分をノズル⑥の先端から直接吸い込まないよう「シールのみ」の動作で作業テーブル⑧の前脚⑨を倒してお使いください。



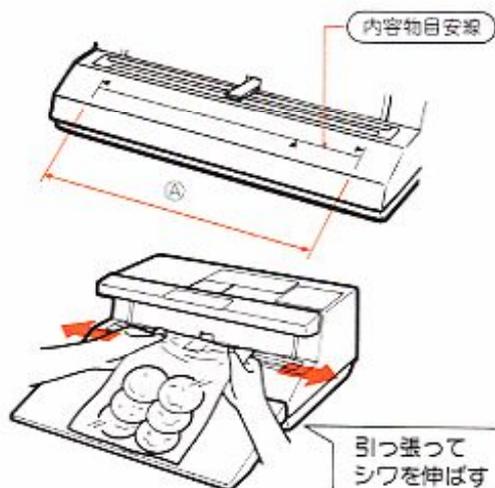
袋のセット位置およびセット

袋の幅は最大30cmまでシールできます。
(Aの範囲でお使いください)

- 1 袋の口を開き、ノズル⑥の先を袋に入れ、袋の口が本体奥の壁に当たるようにセットしてください。
- 2 セットした袋の両端を引っ張って、シール部のシフを伸ばしてください。

上手に吸気するコツ

袋の中身を平均にならし、**内容物目安線**に合わせると吸気しやすくなります。



引っ張ってシフを伸ばす

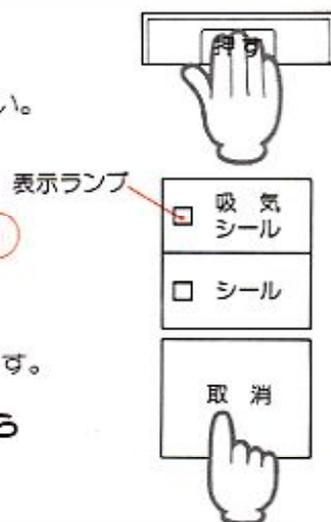
5

シールバー⑦を押す

- “カチツ”と音がするまで押して、手をはなしてください。
- 吸気を始めます。

吸気がうまくできないときは

- 1** **取消** ボタン⑩を押す
●表示ランプが消え、シールバー⑦が元にもどります。
- 2** 袋をセットしなおし、表示ランプが点灯してから **シールバー** ⑦を押してください。



6

吸気タイマーツマミ⑪を2~10に合わせた場合は、次の操作はいりません。

吸気状態を見はからい、 シール開始 ボタン⑨を押す

- ノズル③が引っ込み、シールヒーター④に通電され、シールが始まります。

シールが終るとシールバー⑦とノズル③が元にもどります。

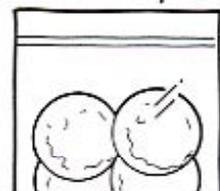


7

袋を取り出す

- シールのできあがり確かめてください。
シール面にシワがあるとシールが不完全になることがあります。
- ① シール面全体にテフロンテープのマス目もようがつき透明感をもった接着になっているのが良いシール状態です。
- ② 目で確かめて不安な場合は、袋の口を持ってシール面をはがすように引っ張って確かめてください。
- シールが不完全な場合は、もう一度シールしてください。

シールのできあがりを確認して



- ご使用後は必ず **電源** ボタン⑧を押し、電源を切ってください。

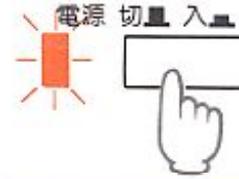
- 作業テーブル⑩を本体の前に置いてください。
- さし込みプラグ①を100Vのコンセントに確実にさし込んでください。

シールのみする場合

1

電源ボタン⑥を押す

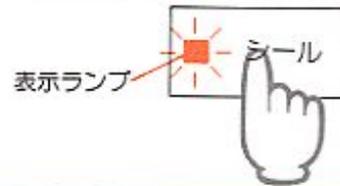
- 電源ランプ⑫が点灯し、ノズル③が出てきます。
(ノズル③が初めから出ている場合は、ノズル③は動きません。)



2

シールボタン⑭を押す

- 表示ランプが点灯し、ノズル③が引っ込みます。



3

シール調節つまみ⑮を合わせる

- シールする袋の厚みに合わせて調節してください。
(5ページ②をご覧ください。)



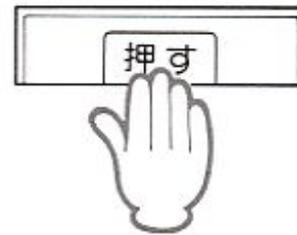
4

袋をセットする (6ページ④をご覧ください。)

5

シールバー⑰を押す

- "カチツ"と音がするまで押して、手をはなしてください。
- シールヒーター④に通電され、シールが始まります。
シールが終るとシールバー⑰が元にもどります。



6

袋を取り出す (7ページ⑦をご覧ください。)

- ご使用後は必ず電源ボタン⑥を押し、電源を切ってください。

ひとくちメモ

ヒーター保護装置について

……本機は、万一の故障にそなえ電子式保護装置を採用しています。この保護装置がはたらくと、ヒーターへの通電が止まり、シールができなくなります。このような場合は、一度電源スイッチを「切」にしたあと、「入」にし、「リセット」してください。それでも、シールできない場合は、機械の故障が考えられますので、販売店にご相談ください。

お手入れ

お手入れは必ずさし込みプラグ①をコンセントから抜いておこなってください。

本体のお手入れ (各部の温度が冷めてからおこなってください。)

汚れは、布に水か食器用洗剤を含ませ、かたく絞ってふいてください。食器用洗剤を使ったときは、水洗いした布で洗剤をよくふき取ってください。

- シールヒーター①部を傷つけたり、テープをはがさないよう注意してください。
- シンナー・ベンジンなどの溶剤やみがき粉などは絶対に使わないでください。



ノズル③と集水タンク②のお手入れ

食品などの水分や粉をノズル③から吸った場合は、集水タンク②にたまります。集水タンク②の水位線までたまったときは使用を中止して、また作業終了時ノズル③と集水タンク②を取りはずし、掃除してください。

集水タンク②をはずす

- ①開閉ボタン①を開ける。
- ②片方の手でシールバー⑦を押し下げる。
- ③もう一方の手で集水タンク②の②部を持ち上方へ取りはずす。
このとき、液体などをこぼさないよう注意してください。

ノズル③をはずす

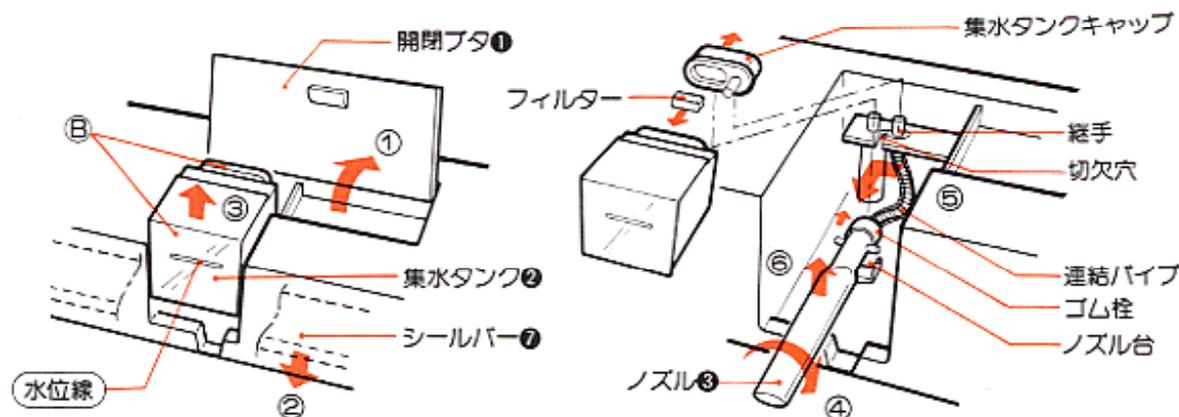
- ④ノズル③の先端を持ち矢印方向へ約30°回しノズル③の根元をノズル台からはずす。
- ⑤継手を矢印方向へ動かして切欠穴からはずす。
- ⑥ノズル③と連結パイプを一緒に取り出す。

お手入れ

- ⑦取りはずした、集水タンク②、継手、ノズル③、集水タンクキャップ、フィルター、ゴム栓を→小矢印方向へ抜き、中性洗剤や水できれいに洗ってください。
(付属のノズル清掃具をご利用ください。)

ご注意

- 洗ったあとは水気をよく切ってから元の状態に組み立ててください。
- 各接続部はしっかりさし込んでください。空気もれの原因になります。

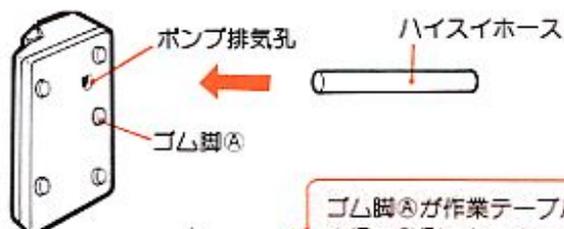


ポンプの洗浄について (塩干物の密封に使用される場合は、定期的に洗浄されることをおすすめします。)

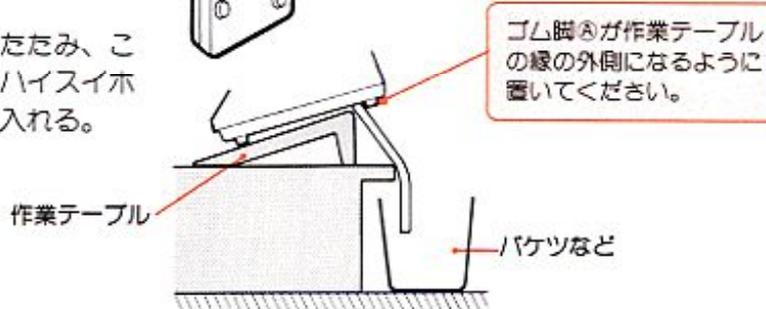
使用中ポンプの吸引力が低下したときは、次の手順でポンプを洗浄してください。

- ポンプ洗浄前に集水タンク、ノズルを清掃してください。
- SQドレンご使用時は、SQドレンをはずし、集水タンクを取り付けてポンプを洗浄してください。

1 本体をたてに置き、ハイスイホースをポンプ排気孔の根元まで挿入する。



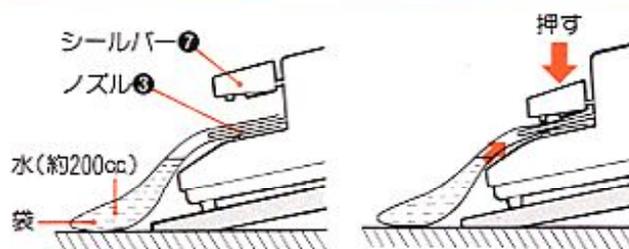
2 作業テーブルの前脚を折りたたみ、この上に本体を静かに乗せ、ハイスイホースの先端をバケツなどに入れる。



3 吸気タイマーつまみ①を「連続」の位置に、シールタイマー調節つまみ②を「1」の位置に合せ、電源ボタン③を押す。



4 袋にキレイな水(約200cc)を入れ、ノズルにセットしシールバー⑦を押す。ポンプが作動し、袋の水を吸引し、ハイスイホースから排水します。(1~3回繰り返しておこなう。) 袋の底を持ち上げると吸引しやすくなります。



5 袋を取りはずしシールバー⑦を押し約20分間空運転をおこなってください。(ポンプの中に水が残ると寒冷地などではポンプが氷結し、故障の原因になることがあります。)

6 ポンプの吸引力が回復したことを確かめたあと、ハイスイホースを取りはずし、通常の使用状態にもどしてご使用ください。

消耗部品のお取りかえ

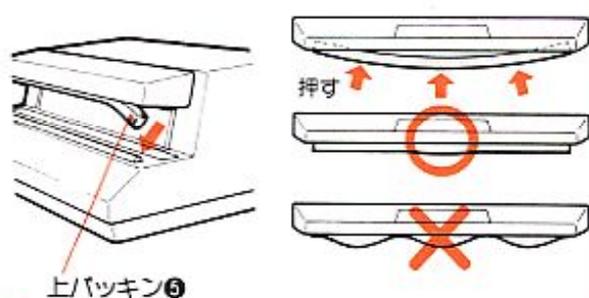
上パッキン⑤・下パッキン⑥ シールヒーター④・テフロンテープ は消耗部品です。部品の寿命がきたときは、お客様にてお取りかえ願います。交換用部品(有料)は、シャープお客様ご相談窓口にて用意致しております。また、消耗部品の交換も有料にておこないますので、お申しつけください。

上パッキン⑤・下パッキン⑥のお取りかえ

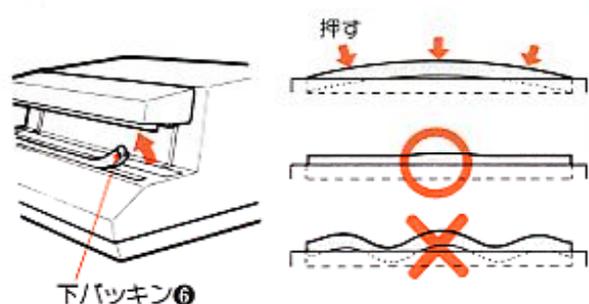
上パッキン⑤・下パッキン⑥に亀裂が入ったり、弾力性がなくなり、吸気ができない状態になったときは取りかえてください。

- 1 パッキンの端を指先でつまみ、下図の矢印方向へ引き出してください。
- 2 次に新しいパッキンの左右を溝の両端に合わせ、少しずつ元の位置へ押し込んでください。挿入は、パッキンを指先でつまみ、圧縮しながら溝の奥まで確実に押し込んでください。

上パッキン⑤



下パッキン⑥



シールヒーター④のお取りかえ

1 ヒーター部のテフロンテープをはがす

- ヒータートリツケネジとヒータートリツケカムがあります。

2 ヒータートリツケカムを回す (左・右にあります)

- ヒータートリツケカムをヒーター交換用具で90°回して、シールヒーター④の張りをゆるめてください。

3 ヒータートリツケネジを左に回す (左・右にあります)

- ヒータートリツケネジを左に回してシールヒーター④をはずしてください。

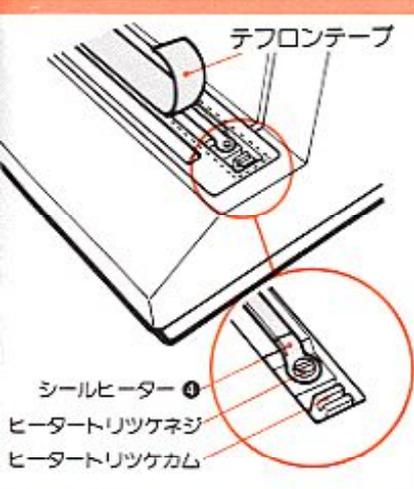
お願い

シールヒーター④をはずしたときには、必ず端子面をサンドペーパーなどでみがいてください。そのまま新しいシールヒーター④を取り付けるとシールができない場合があります。

消耗部品の交換は必ずさし込みプラグ①をコンセントから抜いておこなってください。

●各部の温度が冷めてからおこなってください。

テフロンテープが破れたり、ヒーターが断線して、袋のシールがうまくできない場合は、シールヒーター④とテフロンテープを取りかえてください。

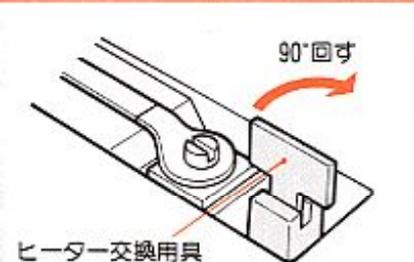
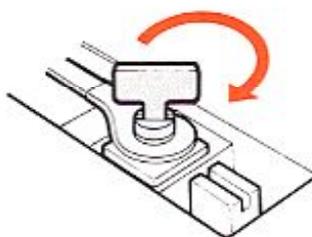


4

新しいシールヒーター④を取り付ける

●ヒータートリツケネジを右に回して新しいシールヒーター④を取り付けてください。

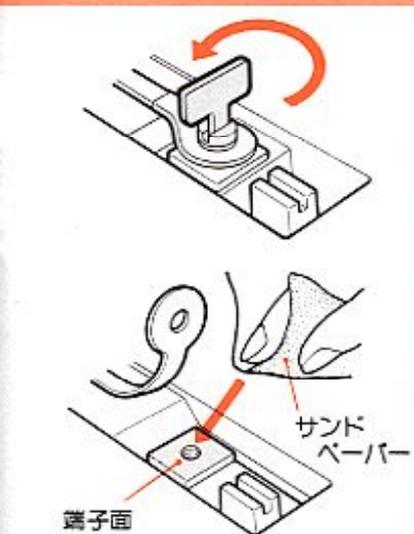
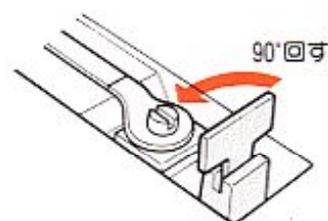
ヒーターが折れたり、ネジれたりしないように注意してください。



5

ヒータートリツケカムを元にもどす

●ヒータートリツケカムを元にもどしてシールヒーター④を張ってください。

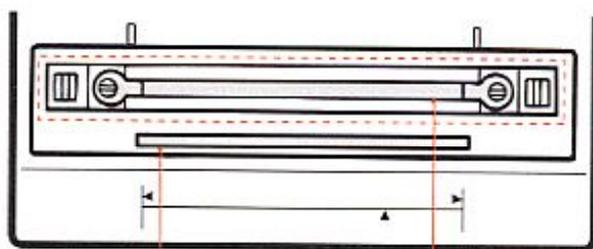


6

新しいテープを貼り付ける

●新しいテープを元の位置に貼ってください。

テープは……線の示す所までキッチリ貼って密着させてください。



据え付けまたは場所を変えるとき

据え付けのしかた

1 直射日光や熱気の少ない所に

機体に直射日光や熱気が当たると変色、変形の原因となります。

2 水気や湿気の少ない所に

水気や湿気が多いと機体の傷みが早く、感電などの危険が生じます。

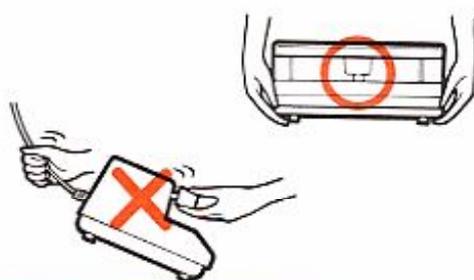
3 じょうぶで水平な所に

テーブルや作業台で使用するとき、じょうぶで水平な所に据え付けてください。

移動するとき

1 据え付け、または場所を変えるときは、機体の底を持って移動させてください。

2 シールバー⑦や電源コード⑧などを持って移動しないでください。

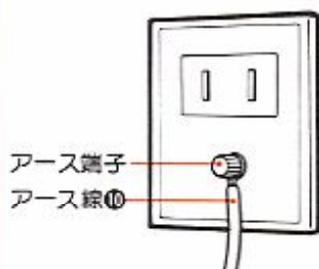


アースについて

万一の感電事故を防ぐため、必ずアース線⑩を正しく取り付けてください。

アース端子がある場合

密封包装機のアース線⑩を、アース端子に確実に接続します。

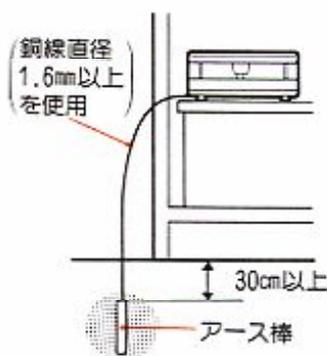


アース端子がない場合

アース棒によるアースをおすすめします。

● D種接地工事（100Ω以下）が必要ですので、お買いあげの販売店に依頼してください。

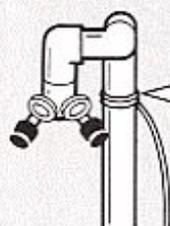
（接地工事は、電気工事士の資格が必要です。）



ご注意

次のようなものにアース線⑩を接続すると危険ですから、絶対にしないでください。

ガス管・水道管・テレビアンテナ・避雷針や電話線のアース（引火や爆発の原因となったり、大きな電流が流れて危険です。）



ガス管などにつなぐと危険です。

アフターサービス

製品の保証について

- 1 保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。なお、食品等の補償など製品修理以外の保証はいたしません。
- 2 保証期間は、お買いあげの日から1年間です。
修理のときは、お申し出により「出張修理」いたします。
- 3 汁物の密封をおこなう場合は別売品のSQドレンを必ず使用してください。万一これを使用せず食品の汁を吸い込みポンプが故障した場合は、保証期間内であっても有償修理といたします。
- 4 保証期間中の修理などアフターサービスについておわかりにならない場合は、お買いあげの販売店またはもよりの旭化成パックス株式会社にお問い合わせください。
- 5 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

補修用部品について

当社は、この密封包装機の補修用部品を製造打切後、外観部品1年間・機構部品3年間・性能部品6年間保有しております。

- 性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

お問い合わせは

この製品についてのご意見、ご質問は、もよりのお客様ご相談窓口へお問い合わせください。

お問い合わせ先は、旭化成パックス株式会社および、シャープの「お客様ご相談窓口のご案内」のとおりです。

仕様

電源	100V 50/60Hz
定格消費電力	500W
接着部温度	約160℃
ヒーター保護装置	電子式保護装置
電源コードの長さ	2m
重量	13kg
外形寸法	幅410mm×奥行260mm×高さ172mm（ツマミ高さ含む）
吸気性能	66.7kPa（ノズル部 外気温度25℃）
吸気時間	●連続 ●約2～10秒
シール時間	約1～4秒
シール可能幅	300mm以下
シールヒーター幅	3mm
シール可能な袋 （厚さ0.04～0.08mm）	●ポリエチレン袋 ●ポリエチレン・ポリプロピレンを内側にラミネートした袋
機能	●吸気・シール ●シールのみ
最大連続使用	●吸気・シール 3回/分 ●シールのみ 6回/分 （表示以上使用されると安全装置がはたらくことがあります。）